

「地域の皆様の笑顔と共に」

小原整骨院

OUTSIDE REPORT

Vol.03

2020.09



30th anniversary
Special issue

「お大事に」…と、帰り際の患者さんに声を掛けてあげたい。この仕事に飛び込んだ理由であり今も大切にしている想いです。

mini

interview

池上清美

筋整流法診断施術師・コミュニケーショントレーナー・FMくらしき市民パーソナリティー

kiyomi ikegami

小原整骨院には様々なバックボーンを持った先生やスタッフがあります。中でも異色の経歴を持つのが、池上清美さんです。

女性の生き方に関心を持ち、男女共同参画で活躍する一方、FMくらしきの市民制作番組「プリティーウーマン」のパーソナリティーとして活躍。23年もの間途切れることなく放送を続けてきた池上清美さんに、ひとりの女性としての生き方、患者さんや多くの人との関わりや想いを語っていただきました。

小原整骨院にお世話になって丸5年が経ち、最近やっと院内で聞こえる様々な音に驚かなくなったなぁと感じているところです。

思春期の多感な時期に見たテレビドラマの影響で、キャビンアテンダントに憧れていた私は、迷うことなく短大で英文科を専攻しました。ところが、夢叶わず…諦めざるを得なくなった私に残されていたのは、持つておけば何かの役に立つと思って取った教員免許…。しかしこれも活躍せず、ごく普通のOLとし

て一般企業に就職し、夫に出会い子を授かり、幸せな家庭を築いていきました。子育ては楽しくもあり、苦勞もあり、しかしその苦勞が報われる瞬間はとても素敵で…子を持つという素晴らしさを感じていました。

しかし、もともと動き回るのが好きで、いつも何かに取り組んでいなければならない性格の私は、学校のPTA活動に夢中になりました。ところが、それが終わるとなった時に、生活に張り合いがなくなってしまう…次は何をしよう、何か探さなくてはと、興味ありそうなことを探していました。そんな時に倉敷市女性大学が目に入ってきたのです。授業料五千円で毎月2回の講義を一年間受けることができたのです。

**人生の価値観を変えることになった
倉敷市女性大学…そこから全てが回**



Kohara Osteopathic Clinic

り始めた。

倉敷市女性大学は、倉敷市としては初めての試みだったらしく私は一期生として在籍しました。大学では女性問題について多くのことを学びました。スウェーデンの子育て事業や離婚問題などを勉強した時、いずれ日本も社会全体として女性のことを真剣に考える時が来るのだらうなと思いました。

女性大学で学んだ次の年に、県から女性海外派遣団の募集があったのですが、その派遣先がデンマークとスウェーデン。ぜひ参加したいと、応募したら受かって…。

しかし、当時、小学4年生と1年生の子供を抱える私が、子供を放っておいて海外旅行に行く訳ですから、夫からは「お前は馬鹿か」と言われ…どうやって夫を説得しようと、日々悶々と悩んでいました。夫からの了解は得ていなかったのですが、日程も近づいてくると準備をしなければなりません。その中に保健所での健康診断があって、了解を受けていない私は後ろめたい気持ちもあり受診できずにいました。ところが、日程も近くなっているのに、受診していないことを気にしたのか、ある日「保健所には行ったのか？」と夫が言うのです。てっきり嫌がっているのだらうと思っていましたが、そうではなく…。夫の中でどういう気持ちの変化があったのか、よくはわかりませんが、ただ、私の気持ちに理解を示してくれたことが本当に嬉しかった。

初の海外旅行は刺激に満ちていましたが、それよりも私の心を捉えたのは、スウェーデンの離婚率の多さや、DVなどの話です。考えさせられること、感動することなど、多くの面で共感することが多く、その話をどこかで伝えたいと思いながら帰路につきました。

9月に帰国したばかりの頃、当時開局したばかりのFMくらしきから番組をしないかとの話が来たのです。そして、その年の12月、あれよあれよと言う間に番組が始まりました。それが、「プリティーウーマン」です。

時を同じくして、今度は県庁から仕事に来ませんか、と誘われたのです。それが、県の男女共同参画推進センター（ウィズセンター）です。私が勤めていた当時はクレドの11階にあり、女性問題専用の図書館も併設されていました。約3,000冊の本が所蔵されており、そこの司書の仕事をさせていただきました。

空を飛ぶ仕事には就けませんでしたでしたが、私の人生観を決めてしまうような仕事に出会うことができたのは、ご縁というか出

会いではないかと思います。人の出会いだけではなく、様々な出来事との出会いが人生を変えてきたのではないかと思います。「幸運の女神には前髪しかない(後ろ髪がない)、だからチャンスがやって来たら逃さずつかめ」とはよく言われますが、私的には「やった後悔より、やらない後悔の方が大きい、ならば、やってみよう」と…やらないと何にもわからない！という思いの方が強かった。



人一倍“人”が好きな私が人と会えない仕事をしている…もっと違う仕事をしたいと思った。

9年お世話になったウィズセンターを辞め、次にお世話になったのが、土木関係の事務所です。パソコンが得意だった私は、日々、土木工事の安全書類を作っていました。ところが55歳になったある日、ずっとこのままで人生を過ごしていいのだろうかと思ってしまったのです。23年前に始めたラジオ番組では様々なゲストをお招きしていましたので、いろんな人に出会う機会がありました。当時の土木関係の仕事は朝8時半に出社しても、社員は現場に全員行っているの、職場の人とあまり会うこともなく、夕方5時には鍵を閉めて帰るという生活を続けていました。確かに、楽でしたが、人一倍“人”が好きな私が、人と会えない仕事をしている…。もっと違う仕事をしたいと思うのは当然のことでした。

そんな時に、小原院長がラジオ番組「プリティーウーマン」ゲストとして出演してくれたのです。以前、肩の痛みでお世話になっていたの、小原先生のことは知っていましたが、この時のラジオの出演からご縁が深まり、整骨院の仕事のお話を聞くと、整骨院の仕事も良いなあと…。



「お大事に」…私も患者さんに言ってあげたい。

今まで、ゲストの方の会社を見に行きたいと思ったことはなかったのですが、初めてそう思ったのが小原整骨院でした。見学に来て一番心に響いたのは「お大事に」という院長が帰り際に患者さんにかかる言葉。この言葉を私も言いたい！人(患者さん)にお大事にと声をかけたいと…。ここの仕事は本当に良い仕事だと思ったのが、小原整骨院で働くことになったキッカケです。

受付で「お大事に」が言えるように早くなりたいたいとワクワクしながら働き始めましたが、実際には慣れないことばかりで、苦労しました。ここでは様々な機械を使っていますので、そこかしこでいろんな音が聞こえてきます。まずその多さと、頻繁に聞こえる音からの切迫感に圧倒されました。高周波が終了を告げる音、施術の時間を知らせるタイマーの音、炭酸足浴のタイマーの音、電話の音…普段聴き慣れない音に慣れるようになるまで、意外にも時間がかかりました。

5年経った今では、もちろん音にもなれて、余裕を持って見渡すことができるようになりました。単に、あの音であれが切れて…音の意味が判るようになるというのではなく、音が判るようになるというのは、音を聞いて、次は何をどうさばかなくてはいけなかが判ることであり、何を準備して、どう動いて、結果スムーズに患者さんを案内することができるようになるということなのです。今でこそ、3つでも4つでもさばけるようになっていますが、最初は思うようにできず、泣いて帰ることもありました。

ヨモギ蒸しに担当になった頃から、新たな挑戦が。

働き始めてからは受付をしていましたが、ある日、ヨモギ蒸しの担当の方が辞められることになり、その引き継ぎでヨモギ蒸しを担当することになりました。もちろん、ヨモギ蒸しの知識も経験ありませんし、そもそも私がお客様に直接サービスを施す立場になるとは思ってもみませんでした。しかし、これも何か天から与えられたチャンスかもしれないと思い、ヨモギ蒸し

の先生のところに習いに行き、施術をするようになりました。それが呼水であったのか、私はどんどんと人を癒す、施術の世界に引き込まれて行きました。



腱引きを習い始めた当初は、力の加減が分からず力みすぎてよく指が痛くなったが…今では長い時間でも施術できるくらい筋肉がついてきた。

歳を取って新しい仕事を始めるというのは大変でした。55歳の手習いというか…。今までは、受付という立場で、患者さんへのおもてなしや、スムーズに治療に入れるように段取りをするのが主な仕事でした。しかし、施術家の仲間入りを果たした今の私には、何事にもプロ意識を持つことが求められます。当たり前といえば当たり前ですが、患者さんの身体に触れる仕事というのは、素人の時の私では想像ができなかったくらい、遥かに責任が重く、尊い仕事です。

この業界に飛び込むには遅い方ですが、しかし、小原整骨院で5年勤めてみて、頑張ればやれるというのを実感しています。まだまだいける！いけてるな！と思います。

ヨモギ蒸しに続いて、リンパマッサージも施せるようになり、施術家としての活躍の場が広がりました。さらに、腱引きの資格を取るため2年半もの間、しっかりと学んできました。さすがに、施術の技術の習得には時間がかかりました。

そんな中で、今、私が取り組んでいるのは、腱引きを美容にも活かそうという試みです。リンパマッサージと腱引きの融合で、むくみやたるみを改善しようというもので、例えば、頭から後ろに流れているリンパの流れを改善し、眼瞼下垂や鼻炎の改善を促す施術です。

ここでの仕事の一番のやりがいは、やはり患者さんを笑顔にできることです。ヨモギ蒸しを受けに来られる方の中に、若い



心を和ませてくれる受付のお花。忙しい毎日だからこそ季節を感じて欲しい

頃から汗をかいたことがないという不妊治療をされている方がいらっしゃったのですが、その方が5回ヨモギ蒸しをしたら汗を流されたのです。そしてこう言われました「私、汗がかけるのですね」と…。この言葉がとても印象に残っています。今ではママになって、たまに治療に来てくれています。もちろん笑顔で。

高校生の時に治療に来られたお嬢さんが成人してからも来てくれたり。赤ちゃんだったお子さんが幼稚園児になっていた

り。患者さんとの繋がりの中でお子さんの成長を見ることができるのは、嬉しいものです。本人も治療をしてもらって、娘も息子も孫もお世話になって、そういうことができるのが整骨院の良さではないでしょうか。家族の顔が見える整骨院…地域社会の絆を作っているのだと感じています。

連島という地で30年も地域の人たちを診てきた整骨院だからこそその光景だと思っています。院長が今まで地道にやられてきたことに、自分も参加できるのは嬉しいというか、誇らしいというか…。

私も施術家として、もっと技術を磨いて、地域の皆様と深い絆を作っていきたいと思います。まだまだ頑張りますので、期待してください。

池上さん出演のラジオ番組「プリティーウーマン」



「プリティーウーマン」は、毎月第2・4・5木曜日 19:00～、FMくらしき(82.8MHz)から生放送でお送りしている市民制作番組です。

池上清美さんと平松とも子さんの二人のパーソナリティーが「暮らしを楽しむエッセンス」をテーマに、毎回様々なジャンルのゲストをお迎えしてお送りするトーク番組です。お二人ならではの心地良いトークに耳を傾けてみませんか。元気をもらえますよ!

profile

池上 清美

(いけがみ きよみ)
[B型・牡牛座]

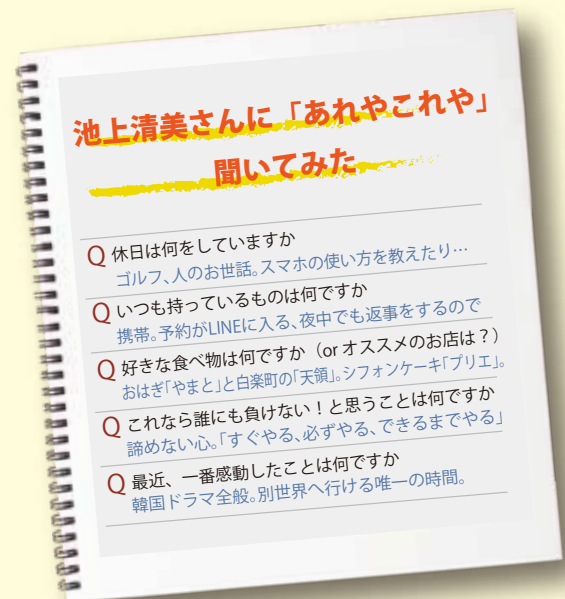


担当

受付・腱引き・ヨモギ蒸し

資格

筋整流法診断施術師・コミュニケーショントレーナー
FMくらしき市民パーソナリティー



☎ 086-444-9595

池上さんへのご相談や、当院へのお問合せなど
お気軽にお電話ください。

 小原整骨院